

# 逢初川土石流災害対策検討委員会

日時：令和3年7月7日（水）午後3時から

会場：県庁別館7階第4会議室B

## 次 第

- 1 開会
- 2 委員紹介
- 3 設置趣意書（案）及び委員会規約（案）について
- 4 委員長あいさつ
- 5 議事
  - （1）土石流の現状について
  - （2）監視体制について
  - （3）応急対策工法について
- 6 閉会

# 逢初川土石流災害対策検討委員会

## 出席者名簿

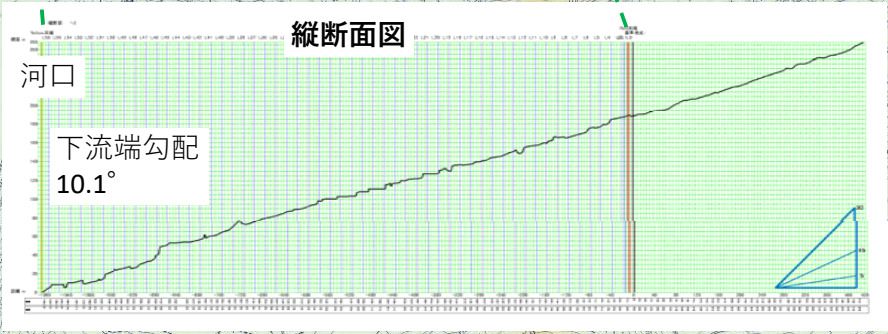
(順不同 敬称略)

- |                    |   |
|--------------------|---|
| 今泉 文寿              | 静岡大学 学術院農学領域 教授                             |
| 山越 隆雄              | 国土技術政策総合研究所土砂災害研究部<br>砂防研究室 室長              |
| 栗木 信之<br>(代理 島崎 誠) | 国土交通省中部地方整備局総合土砂管理官<br>国土交通大臣 中部地方整備局広域水管理官 |
| 古屋 徹之              | 静岡県熱海土木事務所長                                 |
| 光信 紀彦              | 静岡県交通基盤部河川砂防局長                              |
| 宿崎 康彦<br>(欠席)      | 熱海市観光建設部長                                   |



砂防設備台帳図	区画名称	幅尺	水深定	経川名	河川名	流	名	別	管	市	村	大字	字
	平岡区	15000		逢初川	逢初川					熱海市		伊豆山	

# 二級河川逢初川流域図



この図面は森林系河川を使用して図解したものである。



# 逢初川砂防堰堤諸元

## 竣工年度

平成 11 年度

## 施設諸元

堤高：10.0m

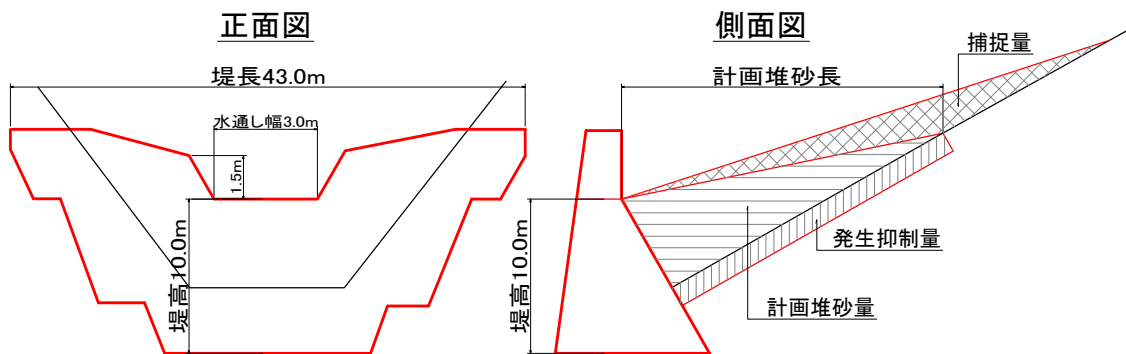
堤長：43.0m

## 施設効果量

合計 4,200m<sup>3</sup>

捕捉量：4,000m<sup>3</sup>

発生抑制量：200m<sup>3</sup>





源頭部



源頭部





砂防堰堤



砂防堰堤堆砂状況





土砂流出状況



土砂流出状況



# 現在の監視体制について

## ①熱海市の避難体制レベル

- ・逢初川流域は、避難指示（レベル5）を継続

## ②監視機器の設置状況（TEC-FORCEに依頼）

- ・監視カメラ×4基（照明車×1基）
- ・雨量計×1基
- ・地盤伸縮計×2基、サイレン、回転灯

### ■ 県職員

目視で土石流確認→  
携帯電話で消防本部に連絡→  
エリアメールで作業者に通知

### ■ 地盤伸縮計（明日より）

基準値以上→  
伊豆山神社付近の  
サイレン、回転灯が鳴動





### ③源頭部の監視について

6：00～18：00 現地監視 3名＋画像監視

(県職員1名、市職員1名、コンサルタント協会1名)

18：00～6：00 画像監視 4名

(県職員4名)

※ 中止の判断：目視による土石流の兆候確認  
一定降雨確認（数値設定なし）





# 今後の応急工事における 中止判断基準（案）について

- ・雨量

（参考例：南木曾町梨子沢

1時間雨量10mmまたは連続雨量50mm)

（参考例：沼津河川国道事務所

1時間雨量10mmまたは連続雨量80mm)

（参考例：富士砂防事務所

1時間雨量10mmまたは連続雨量60mm)

- ・地盤伸縮計

（参考例：地すべり防止技術基準及び同解説

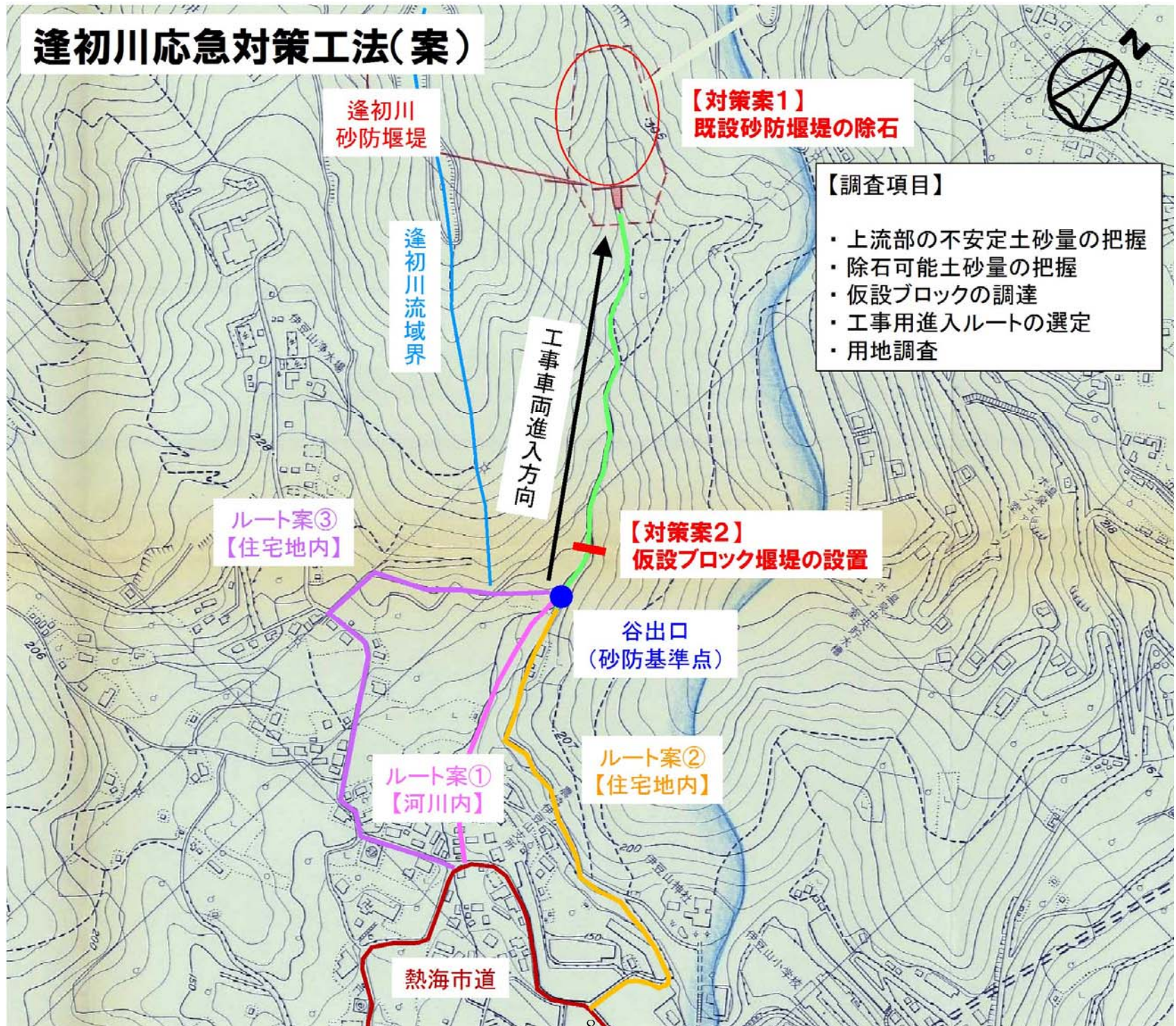
1時間あたりの移動量2mmが2時間)

- ・その他





# 逢初川応急対策工法(案)





## ハード対策 (緊急時)

- 大型土のう、コンクリートブロック設置
- 仮設導流堤の整備
- 砂防堰堤等の除石
- 砂防堰堤の嵩上げ等



ブロック積による仮設の堰堤



仮設導流堤を流れる泥流 (三宅島)







緊急的な除石 (霧島山)



# 逢初川源頭部の応急対策（案）



-  雨水流入
-  土のう等による雨水誘導（法肩部分）
-  仮設管により盛土外へ導水
-  法面上部の不安定土砂除去シートによる法面保護



# 逢初川源頭部の応急対策（案）

## 想定される対策

対策内容	応急内容	課題	当面の対応
不安定土砂の除去	落ち残り、オーバーハング部等の除去	範囲の設定 土地所有者の了解	斜面上部のクラック把握 無人化施工の検討
雨水流入対策	土のう、導水による盛土部分への雨水流入防止	排水先の設定	排水先がない場合は表面保護のみ
表面崩落の防止	シート等による法面保護	法面下部までは立入困難	当面は法面上部までの実施